

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔呼吸器・アレルギー内科〕

指標名

呼吸器疾患における地域医療連携パスの導入実績

目標・ゴール

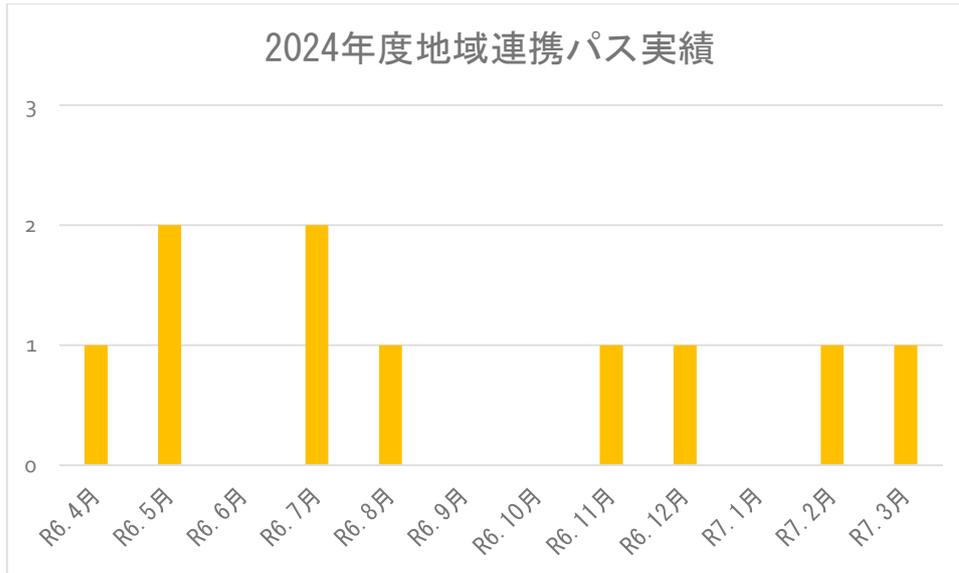
目標：呼吸器疾患における地域医療連携パスの新規導入
月5件、年間60件以上

ゴール：昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院では「ふたり主治医制」を推進している。この制度を効率的に行うためには、それぞれの診療分担の明確化と情報共有が重要である。そのためのツールとして地域医療連携パスが策定されており、この導入をさらに促進することで、より良質な医療提供を行うことをゴールとしている。

目標・ゴール達成による効果

1. ふたり主治医制の促進による当院受診患者の満足度増加
2. 紹介、逆紹介の増加による医療連携の活性化

目標・ゴールに対する成果の状況



目標・ゴール達成度

- S :大幅に目標を上回って
- A⁺:目標を多少上回って達成
- A :目標を達成
- B⁺:目標を少し下回った
- B :目標を下回った
- C :目標を大幅に下回った
- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴール課題・改善策

- ・月別、年間総数を含めて目標を下回った。
- ・運用されている地域医療連携パスの疾患が限られているため、新規導入が低調となった可能性がある。診療科としての逆紹介自体は行われており、まずは基盤となる逆紹介をシステム化
- ・地域の医師会とも双方向の情報交換を密に行い、逆紹介を推進することで、医療ニーズの高い呼吸器疾患の地域医療ネットワークを新展開していきたい。